

I. 協議会に関すること

- 1. 協議会の設置の有無 A ○有 B 無
- 2. 協議会の委員の人数 (7)名
- 3. 協議会の委員構成

(記載例) -----
 関係行政機関 2名
 病院団体 2名
 職能団体 3名
 教育機関 2名

職種等	人数
病院団体	(6)名
教育機関	(1)名
	()名
	()名

- 4. 平成23年度における協議会の開催回数(年度内の開催予定も含む) (8)回
- 5. 協議会の主な検討事項、活動内容等(自由にご記入ください)

- ①平成23年度委員会開催要領の作成および活動計画立案
- ②新人看護職員研修状況アンケート作成・集計・検討(平成22年度研修責任者研修修了者の所属する施設を対象)
- ③アドバイザー派遣研修会(新人看護職員研修の課題共有のため)
- ④受け入れ事前検討会(新人看護職員研修会を他施設から受け入れるための検討会)

II. 新人看護職員研修の実施が困難な病院等に対するアドバイザー派遣に関すること

- 1. アドバイザー派遣の有無 A 有 B 無
- 2. アドバイザーを派遣した施設数 (4)回
- 3. 派遣回数 延べ(4)回
- 4. アドバイザー派遣の基準(施設類型や病床数等による基準を設けているか否か等についてご自由にご記入ください)

・病院施設および平成22年度新人看護職員研修事業 研修責任者研修修了者所属施設を基準とした。

[自由記載]
 ・新人看護職員研修ガイドラインに基づいた教育体制の構築や受け入れ体制の進捗状況の確認

5. アドバイザーの状況

(1)職種

看護職（看護部長、副看護部長、大学教授）

(2)人数

（ 7 ）名

(3)アドバイザーの要件（個人への依頼の場合には、当該個人をアドバイザーに選定した理由・要件）
（施設への依頼の場合には、当該施設を選定した理由・基準）

・認定看護管理者（サードレベル）取得者あるいは教育担当者。

6. アドバイザーの主な活動内容

・新人看護職員研修の課題に関する相談および資料の提示。
・新人看護職員研修研修会講師選択の相談・支援。
・施設の課題や質問等へのアドバイス。

Ⅲ. 施設間における情報共有、連携・調整に関すること

1. 情報共有、連携・調整の方法、内容(自由にご記入ください)

・アドバイザー派遣研修会においてグループディスカッションを実施し、各施設の情報交換および課題の共有を行った。
・受け入れ事前検討会における施設間の情報交換会の実施。
・新人看護職員研修推進委員会事務局(担当者2人)が、施設間および委員間の調整を行った。

Ⅳ. 新人看護職員研修の普及啓発に関すること

1. 事業内容(自由にご記入ください)

・アドバイザー派遣研修会および受け入れ事前検討会において、新人看護職員研修ガイドラインの理解に努めた。

2. 対象及び対象数(自由にご記入ください)

(対象)

・新人看護職員研修状況アンケート調査で、アドバイザー派遣および新人看護職員研修受け入れ研修を希望する施設。

(対象数)

・アドバイザー派遣希望施設 13 施設、新人看護職員研修受け入れ研修希望 9施設

3. 期間、回数等(自由にご記入ください)

(期間・回数)

- ・アドバイザー派遣研修会：午後、1回
- ・受け入れ事前検討会：午後、1回

V. 事業の評価に関すること

1. 事業の効果および評価に関すること(自由にご記入ください)

(協議会)

・年間計画の実施、研修状況アンケート調査の結果、および平成23年度新人看護職員研修事業各研修受講後アンケート結果から評価を行った。

・アンケート調査・研修会の開催およびアドバイザー派遣を通して県内の新人看護職員研修の実態が把握できた。

(アドバイザー派遣)

・アドバイザー派遣終了後施設アンケート調査結果から、アドバイザーの具体的な相談・指導に効果が認められた。

・アドバイザー派遣終了後派遣委員の記録では、施設の積極的な取り組みへのアドバイスができ、具体的な相談・指導に効果が認められ、現地に赴く利点を確認できた。

(施設間における情報共有、連携・調整)

(新人看護職員研修事業の普及啓発)

・アドバイザー派遣研修会のアンケートの結果から概ね研修目的の達成および実践への活用に繋がる内容との評価を得た。また、新人看護職員研修ガイドラインの意識付けに繋がった。

(今後の課題)

・新人看護職員研修ガイドラインに沿った新人看護職員研修の教育体制を整えるため、

①県内地区別に、研修を企画・実施し看護の質の強化を図る。

②県内の新人看護職員が一定の水準に沿って新人看護職員研修ガイドラインに沿った研修を受けられる環境整備に繋げる。